

あゆみ

Vol.61

令和8年3月24日



表紙写真 「ホンドギツネ」

名古屋市内に生息するホンドギツネの親子です。

キツネは昔から身近な里山や田園地帯で暮らし、人の生活と関り合ってきた生き物でした。その為、「ごんぎつね」など多くの昔話に登場し、「お稲荷様」など信仰の対象にもなっています。

キツネといえば北海道のキタキツネを思い浮かべる方が多いですが、昼間にも活動して人慣れしているキタキツネに対して、ホンドギツネは夜行性で警戒心が強いいため見かける機会はほとんどありません。

昨年は天白区や瑞穂区でホンドギツネが多く目撃されたり、NHKの番組で名古屋城界限のホンドギツネが特集されましたが、一方で近隣住民の餌付け行為によって人馴れしている個体が増えていくことも危惧されています。

人やペットと野生動物との適切な距離を保ち、共存できる配慮が必要だと感じています。

牧の池どうぶつ病院 鈴木克弥（名東区）

表紙題字 故 芝田 松太郎 氏
（名古屋市獣医師会 元会長）

あゆみ Vol.61

巻頭言 中部大会を終えて

	(公社)名古屋市獣医師会会長 三浦春水 ……	1
令和7年度 中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会 ……		3
令和7年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事 ……		11
令和7年度 狂犬病予防集合注射	集合注射対策委員会 ……	12
令和7年度 学校飼育動物委員会活動実績	学校飼育動物委員会 ……	14
令和7年度 名古屋夜間動物救急センター報告	夜間診療所委員会 ……	15
令和7年度 学術委員会活動報告	学術委員会 ……	17
令和7年度 学術奨励金事業	学術委員会 ……	17
令和7年度 定期購読雑誌・書籍	学術委員会 ……	18
令和7年度 学術セミナー	学術委員会 ……	18
令和6年度 人獣共通感染症調査事業報告	学術委員会 ……	19
令和6年度 傷病野生鳥獣保護活動集計	学術委員会 ……	24
令和6年度 テレフォンドクター集計結果報告書	動物愛護事業委員会 ……	25
令和7年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展	動物愛護事業委員会 ……	30
令和7年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈	動物愛護事業委員会 ……	31
令和7年度 絵本寄贈	動物愛護事業委員会 ……	32
動物フェスティバル2025なごや	動物愛護事業委員会 ……	33
令和7年度 愛玩動物看護師法関連事業委員会事業報告	愛玩動物看護師法関連事業委員会 ……	34
令和6年度 名古屋市人とペットの共生サポートセンター事業報告 ……		35
令和7年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付 ……		37
令和7年度 災害対策委員会 事業報告	災害対策委員会 ……	38
令和7年度 交流会	福祉厚生委員会 ……	39
会員寄稿		
桂枝雀の思い出	大崎龍也 ……	40
令和7年度 名古屋市獣医師会行事 ……		43
退会者報告 ……		43
物故者追悼 ……		43
協賛広告 ……		44
編集後記 ……		50

中部大会を終えて

公益社団法人 名古屋市獣医師会

会長 三浦春水

令和7年度は9年に一度の大イベント中部地区獣医師大会および獣医学術中部地区大会が開催されました。準備及び運営には多くの会員の皆さんに協力を頂き、盛大に開催できました。詳細を「あゆみ」に残したいと思います。

令和7年8月30日、31日に名古屋コンベンションホールにて公益社団法人名古屋市獣医師会主催において「令和7年度中部地区獣医師大会および獣医学術中部地区大会」を開催いたしました。開催にあたり公益社団法人日本獣医師会をはじめ中部地区獣医師会並びに各関係団体や企業など多大なご支援をいただき感謝申し上げます。参加者は獣医師、動物病院スタッフ、一般の方など816名のご参加をいただき盛会裏に終えることができました。

大会には広沢一郎名古屋市長、藏内勇夫日本獣医師会会長を始め愛知県、名古屋市、農林水産省、環境省他多くのご参加とご挨拶をいただきました。また、獣医学術の進展、獣医技術の発展、畜産の振興、公衆衛生の向上、動物愛護の推進などに著名な功績あげられた65名と令和6年度獣医学術中部地区学会優秀研究発表者6名を表彰いたしました。

今回のテーマは「言葉を超えてつながる命～共生社会への第一歩～」としました。ペットとの共生を見直してみるためです。人はペットと共生することで様々な恩恵を受けます。健康寿命を延ばす効果もあるといわれていますが、日本における飼育率は世界的に見ても低く、さらに最近は減少傾向にあります。その為、特別講演では国立環境研究所の谷口優先生にペットとの共生が健康寿命に及ぼす効果について、そしてロサンゼルス在住で臨床獣医師の西山ゆう子先生にアメリカにおけるペット飼育状況および獣医師の立場などについて講演をして頂きました。

一般市民の方の参加も予想以上に多く大変好評に終わることができました。

獣医学術中部地区学会では、三学会で合計65題の発表があり、その中から地区学会賞5題と日本産業動物獣医学会(中部地区)特別賞1題が選ばれました。獣医学術の発展に資する充実した研鑽の場となりました。また、愛玩動物看護師・動物病院スタッフセミナーにも多数の参加をいただき、午前中は愛玩動物看護師口頭発表会を行い13題の発表がありました。午後からはTRVA動物医療センター院長塗木貴臣先生による「呼吸、循環、中枢神経のエマージェンシー」を講演いただきました。改めまして大会・学会にご協力を頂いた会員の皆様をはじめ全ての皆様に感謝を申し上げます。

今回は、積立金、参加費、補助金などでなんとか2日間の開催ができましたが、次回担当の9年後はさらなる運営費の上昇が予想され、同様の規模での開催は困難になるかもしれません。獣医師会の運営も今まで通りでは行き詰ってしまうでしょう。会館を立て直し一部を貸し出すような新たな収入源の検討も必要になってくるでしょう。厳しい時代への対応が必要になってくると思います。会員の皆様には更なるご協力を宜しくお願いいたします。

令和7年度 中部地区獣医師大会・獣医学術中部地区学会

〈日本産業動物獣医学会（中部地区）・日本小動物獣医学会（中部地区）・
日本獣医公衆衛生学会（中部地区）〉

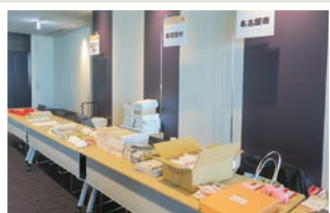
テーマ「言葉を超えて繋がる命 ～ 共生社会への第一歩 ～」

2025年8月30日・31日に名古屋コンベンションホールにて、中部地区獣医師大会・
獣医学術中部地区大会が公益社団法人名古屋市獣医師会の主催で行われ、盛況の内に
終わることができました。

令和7年度 中部地区獣医師大会

令和7年8月30日(土)

■ 受付



■ 開会の言葉



鈴木 直広 副会長

■ 大会長挨拶



三浦 春水 会長

■ 公益社団法人 日本獣医師会 会長挨拶



日本獣医師会
会長 藏内 勇夫 氏

■ 功労者表彰



65名 代表 富山県獣医師会 保田 仁美 様



■ 優秀研究者表彰

● 令和6年度 日本産業動物獣医学会 中部地区学会長賞

「豚熱ELISA検査における国産キットと
海外製キットの比較検証」



岐阜県中央家畜保健衛生所 桑田 桂輔 様 他2名

「酪農場における食品製造副産物を使用した飼料
コスト低減と乳生産量増加による経営改善の実例」



新潟県開業 石井 杏奈 様 他4名

● 令和6年度 日本小動物医学会 中部地区学会長賞

「猫のコハク酸セミアルデヒド
脱水素酵素欠損症の世界初報告」



新潟県開業 坂大 智洋 様 他5名

「犬の免疫性血小板減少症の診断指標
および出血または治療反応性予測因子の探索」



名古屋市開業 横田 峻也 様 他4名

● 令和6年度 日本獣医公衆衛生学会 中部地区学会長賞

「行政施設を活用した猫のスパイククリニック
開設に向けて～にゃんがたセンタークリニック
猫の不妊手術専門病院」



新潟市動物愛護センター 星野 勇矢 様 他4名

■ 祝辞



愛知県知事代理 農業水産局局長 松井 直樹 様



名古屋市長 広沢 一郎 様



市会議員 横井 利明 様



市会議員 藤田 和秀 様

■ 大会アピール



名古屋市獣医師会 山崎 憲生

■ 次期開催獣医師会 挨拶



富山県獣医師会
会長 松村 隆治 様

■ 閉会の言葉



名古屋市獣医師会
保田 恭志 副会長

記念講演

第一部

「伴侶動物との共生が 人と社会にもたらす効果」

国立環境研究所 谷口 優 先生



第二部

「人と動物の共生について。 アメリカに見る救う命と救われる命」

日米獣医師 ロサンゼルス在住 西山 ゆう子 先生



交流会

■ 開会のあいさつ



三浦 春水 会長

■ 乾杯のご発声



日本獣医師会 副会長 伏見 啓二 様

名古屋名物を食しながら時間の許す限り、和やかに歓談して頂きました。





エンターティナー 天平さんによるジャグリングショーをお楽しみ頂きました。



■ 閉会の言葉



日本獣医師会 副会長 西山 治夫 様

愛玩動物看護師 口頭発表会



愛玩動物看護師・動物病院スタッフ 学術セミナー

～あなたは“ちゃんと”理解していますか～
愛玩動物看護師のための
『呼吸、循環、中枢神経のエマージェンシー』

TRVA 動物医療センター院長・JaVECCS（日本獣医救急集中治療学会）理事
塗木 貴臣 先生



女性獣医師の会



令和7年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事

役 職	氏 名	担当委員会
会 長	三 浦 春 水	総括／狂犬病予防委員会／ 倫理委員会／制度調査委員会
副 会 長	鈴 村 直 広	総務／獣医事対策
副 会 長	保 田 恭 志	会計／情報公開(新規)／会館運営委員会
理 事	夏 目 里 枝 子	愛玩動物看護師法関連事業委員会／ 災害対策
理 事	小 島 健 太 郎	学術委員会
理 事	浅 井 悠 平	集合注射対策委員会
理 事	松 波 登 記 臣	夜間診療所委員会
理 事	大 崎 龍 也	会誌委員会／福祉厚生委員会
理 事	山 崎 憲 生	動物愛護事業委員会
理 事	石 川 雄 一	学校飼育動物委員会／情報発信委員会
外部理事	泉 憲 明	な し
監 事	岡 田 茂	な し
監 事	山 岡 新 生	な し
外部監事	黒 邊 雅 実	な し

令和7年度 狂犬病予防集合注射

集合注射対策委員会

令和7年度狂犬病予防集合注射実施結果

1. 期間

令和7年4月7日～5月16日

延日数 22日(44会場)

出勤獣医師延人数 101人

2. 実施頭数 5,362頭

(会員報告をもとに事務局集計)



狂犬病予防集合注射実施頭数の推移(令和2年度～令和7年度)

区	令和7年度 春に開催	令和6年度 春に開催	令和5年度 春に開催
期 間	4/7 - 5/16	4/8 - 5/17	4/6 - 5/24
延日数	22日	23日	29日
会場数	44会場	45会場	57会場
延人数	101人	101人	123人
千種	252	274	217
東	181	180	176
北	512	525	579
西	402	356	391
中村	380	408	418
中	256	259	272
昭和	132	170	212
瑞穂	300	285	313
熱田	109	122	114
中川	350	362	446
港	638	659	624
南	415	388	409
守山	454	422	356
緑	514	559	640
名東	247	227	214
天白	220	238	298
計	5,362	5,434	5,679



区	令和4年度 春に開催	令和3年度 延期して秋に開催	令和2年度 途中で中止
期 間	4/11 - 5/27	9/27 - 10/29	4/3 - 4/7 (~ 5/14)
延日数	55日	24日	11日(87日)
会場数	74会場	50会場	22会場(159会場)
延人数	163人	146人	23人(193人)
千種	358	145	0
東	132	94	302
北	567	241	314
西	472	153	0
中村	460	156	0
中	226	86	0
昭和	233	117	414
瑞穂	245	111	0
熱田	179	66	0
中川	475	233	0
港	599	313	319
南	388	213	0
守山	322	206	0
緑	566	266	243
名東	229	89	0
天白	339	118	0
計	5,790	2,607	1,592

令和7年度 学校飼育動物委員会活動実績

学校飼育動物委員会

2025年10月1日 昭和区・鶴舞小学校にて名古屋市人とペットの共生サポートセンターと協力の下、犬の「動物ふれあい教室」を開催しました。また、犬ボランティアとしてDOOGY DAYCARE Pooches様にご協力頂きました。



令和7年度 名古屋夜間動物救急センター報告

夜間診療所委員会

今年度の名古屋夜間動物救急センターでは常勤獣医師2-3名・非常勤獣医師5-6名で安定した医療提供ができた年度となりました。引き続き、夜間診療所では常勤・非常勤ともに人員を募集しておりますので、お近くに希望されている先生、またはバイトで救急を経験してみたいという若い先生がおられましたら、ぜひご紹介していただくと大変嬉しく思います。本センターでの診察件数の報告をさせていただきますと、診察件数は3,177件でした。来院地域の内訳としては、名古屋市1,885件、愛知県948件、県外344件でした。また会員病院さまが主治医の患者さまは970件であり、全体の約30%を占めていることから、本センターが会員病院さまの夜間の時間帯の救急対応の一助になっていることは大変嬉しく思います。引き続き、本センターの運営に邁進して参りますので、何卒、宜しく願い申し上げます。

公益社団法人名古屋市獣医師会名古屋夜間動物救急センターにおける 令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)の来院状況集計

総来院件数 3177

表1. 動物種の内訳 (匹)

犬	小型犬	2073
	中型犬	97
	大型犬	90
	合計	2260
猫		769
エキゾチック	ウサギ	143
	ハムスター	2
	鳥類	2
	フェレット	0
	その他	1
	合計	148

表2. 年齢層の内訳 (匹)

犬	1歳未満	292
	1～4歳	642
	5～8歳	350
	9歳以上	973
	年齢不詳	3
	合計	2260
猫	1歳未満	111
	1～4歳	208
	5～8歳	155
	9歳以上	272
	年齢不詳	23
	合計	769

表3. 疾病分類 (匹)

消化器系	708
神経系	384
筋骨格系	154
不定愁訴	197
泌尿生殖器系	251
皮膚科	26
呼吸器系	158
緊急疾患	136
眼科	82
中毒	13
代謝疾患	0
免疫系	49
循環器系	116
内分泌系	23
感染症	15
血液疾患	12
腫瘍	17
その他	81
誤食	541
外傷	214

表4. 曜日毎来院数の内訳 (匹)

月	480
火	475
水	411
木	406
金	424
土	442
日	539

表5. 曜日毎平均来院数の内訳 (匹)

月	9.2
火	9.1
水	7.9
木	7.8
金	8.2
土	8.5
日	10.4
平均	8.7

表6. 月毎の来院件数 (匹)

2024.4	239
2024.5	288
2024.6	270
2024.7	283
2024.8	296
2024.9	273
2024.10	277
2024.11	249
2024.12	261
2025.1	271
2025.2	220
2025.3	250

表7. 来院時間の内訳 (匹)

19～20時	1
20～21時	171
21～22時	858
22～23時	750
23～0時	666
0～1時	464
1～2時	264
2時以降	3

表8. 来院地域の内訳 (匹)

名古屋市内	1885
愛知県	948
愛知県外	344

表9. 名古屋市内の来院内訳 (匹)

昭和区	95
天白区	99
千種区	66
名東区	58
瑞穂区	89
守山区	33
緑区	128
東区	73
北区	89
熱田区	73
西区	129
南区	105
港区	171
中村区	155
中区	224
中川区	298

表10. 来院患者の内訳 (匹)

A	970
B	749
C	166
D	1292

A：名古屋市内で名古屋市獣医師会会員病院が主治医の患者

B：名古屋市内で非会員病院が主治医の患者

C：名古屋市内で特に主治医のいない患者

D：名古屋市外在住の患者

令和7年度 学術委員会活動報告

学術委員会

学術委員会では、会員獣医師および動物看護師の獣医療技術向上を目的として、卒後教育セミナーの開催や国内外の学術誌の購読を行い、最新の獣医学情報を会員が継続的に学べる環境整備に取り組んでいます。

令和6年度には、獣医師向け学術セミナーとして、超音波検査に関する実習セミナーを開催しました。対面形式による実践的なハンズオンセミナーを通じて、臨床現場で即活用できる知識と技術の習得を支援しています。

また、名古屋市から委託を受けて、人獣共通感染症調査事業および傷病野生鳥獣保護事業にも継続して取り組んでいます。

令和6年度の人獣共通感染症調査では、「名古屋市の飼犬におけるレプトスピラ抗体価調査」を実施し、市民の公衆衛生の維持・向上に資する基礎データを収集しました。

傷病野生鳥獣保護事業では、市民が身近な野生動物を保護した際の対応や取り扱いに関する相談に協力し、適切な保護活動の支援を行っています。

今後も学術委員会は、専門職の教育と市民の公衆衛生の両面から、地域社会に貢献する活動を継続してまいります。

令和7年度 学術奨励金事業

学術委員会

会員の学会発表や学術論文投稿など獣医学向上の勤労をたたえ、さらなる努力を奨励するために定められた要綱に従い奨励金を支給いたしました。

	会員名 (敬称略)	題 名	学術研究団体名	発表日 または刊号、 ページ
1	森島 隆司 みどり動物病院	若齢犬に認められた反張膝の5例	中部地区獣医師大会 獣医学術中部地区学会	2025/08/31
2	山村 龍輝 みどり動物病院	第2趾球を用いて足底球の外科的再建を実施した犬の1例	中部地区獣医師大会 獣医学術中部地区学会	2025/08/31
3	水野 景介 ひがしやま動物病院	症例検討会 小型犬および猫の長管骨骨幹骨折に対する治療を再考する	日本獣医麻酔外科学会	2025/12/14
4	横田 峻也 湯木どうぶつ病院	凝固亢進を疑う犬におけるアンチトロンビン活性の予後予測指標としての有用性	中部地区獣医師大会 獣医学術中部地区学会	2025/08/31
5	森島 常統 みどり動物病院	An assessment of trochlear groove morphology with the severity of medial patellar luxation using ultrasonography in dogs presented to a clinic Japan	Veterinary record open	2025/05/14

令和7年度 定期購読雑誌・書籍

学術委員会

下記、雑誌・書籍が閲覧可能です。是非、ご利用下さい。

- 雑誌
 - Journal of American Veterinary Medical Association (米国獣医師会雑誌) 【Print+電子ジャーナル】
 - Journal of Small Animal Practice (小動物臨床雑誌) 【電子ジャーナル】
 - Journal of Veterinary Emergency and Critical Care (獣医救命救急雑誌) 【電子ジャーナル】
- 商業誌
 - SURGEON
 - SA Medicine
 - As(アズ)

令和7年度 学術セミナー

学術委員会

■ 獣医向け学術セミナー

講師：永田矩之 先生 (岐阜大学応用生物科学部 獣医臨床放射線学研究室 准教授)
超音波実習「腹部の基本から副腎・膀胱・甲状腺まで」

日時：令和7年6月29日(日) 13:00～16:00

場所：名古屋港湾会館 第2・第3会議室



■ (公社)日本獣医師会 東海地区 VMAT講習会

主催：東海地区獣医師会災害対策協議会 (担当 (公社)静岡県獣医師会)

講師：佐伯潤 先生

日本獣医師会理事 (動物福祉・愛護部会長)

日本獣医師会危機管理室 危機管理統括

大阪府獣医師会会長

藤本順介 先生

東京都獣医師会 (ふじもと動物病院院長)

日本獣医師会危機管理室災害対策部門 災害対策委員長

日時：令和8年2月1日(日)

場所：名古屋市獣医師会館

名古屋市の飼犬における レプトスピラの抗体価調査

I. はじめに

レプトスピラ症は、スピロヘータの一種である病原性レプトスピラによって引き起こされる人獣共通感染症であり、感染すると多様な臨床症状を呈する [1]。この細菌は30を超える血清群と300を超える血清型が知られており、日本を含む世界中に広く分布し、多種多様な動物に感染する [2]。感染経路として、保有宿主の尿細管から排出された病原菌が皮膚や粘膜から経皮感染することが主である [3]。げっ歯類、特にドブネズミが主要な保有宿主とされており [4]、これらの動物の尿によって汚染された水や土壌がヒトや犬の感染源となることがある。

犬のレプトスピラ症は、発熱、倦怠感、食欲不振、嘔吐、脱水、出血などの初期症状を示し、進行すると腎不全や肝不全を引き起こし、治療が遅れると死に至る疾患である [5]。日本においては、家畜伝染病予防法により、*L. Pomona*、*L. Canicola*、*L. Icterohaemorrhagiae*、*L. Grippotyphosa*、*L. Hardjo*、*L. Autumnalis*、*L. Australis* の7つの血清型に感染した犬およびその疑い例を届出伝染病として獣医師は報告することが義務付けられている。平成27年から令和6年までの10年間で、国内では316頭の届出があり、愛知県でも平成29年、令和2年、令和6年に各1件の報告がされている [6]。このようにヒトにとって身近な伴侶動物である犬もレプトスピラの保有動物となる可能性はあるものの、ヒトへの直接的な感染源になる可能性は極めて低いと考えられてきた [7-9]。しかし、最近、レプトスピラに感染した犬からヒトへの感染を疑う報告があり [10,11]、公衆衛生の観点からも犬のレプトスピラ症を認識することが非常に重要と考えられる。

本研究は、レプトスピラに対するワクチン接種歴のない名古屋市内の犬を対象に、*L. canicola*、*L. icterohaemorrhagiae*、*L. hebdomadis* に対する抗体保有状況を調査し、その感染リスクを評価することを目的とした。

II. 材料および方法

1. 調査対象

本研究は名古屋市内16区の各協力動物病院へ来院した飼育犬のうち、レプトスピラ属菌株を含有したワクチンの接種歴がない犬、計80頭を調査対象とした。

2. 調査期間

2024年11月1日～2024年12月6日

3. 検査材料

血清0.3ml

4. 検査委託先

どうぶつ検査センター株式会社

5. 検査方法

採取された血清は顕微鏡下凝集試験（microscopic agglutination test; MAT）により抗体価を測定した。抗原として *L. canicola*, *L. icterohaemorrhagiae*, *L. hebdomadis* の計3血清型の菌株を使用した。血清は滅菌PBSで25倍希釈後、96穴マイクロプレートを使って2倍段階希釈（25倍～800倍）した。抗原として各血清型の生菌を植え継ぎ、5～9日間、30℃で培養したものを使用した。希釈血清に抗原を同量添加し、攪拌後、暗所室温（20～25℃）で2時間反応させた。反応液をスライドグラスに取り、暗視野顕微鏡下（倍率100倍～400倍）で観察し、コントロール（菌数50%）以下の生菌数となった場合を陽性とし、その血清希釈倍率を抗体価とした。

6. 疫学調査

レプトスピラ属菌の疫学的特徴に基づき、血液のサンプリング時に飼い主に飼育環境についての以下の項目の聞き取り調査を実施した。

①飼育動物について

- 1) 品種
- 2) 性別（雄／雌／去勢雄／避妊雌）
- 3) 年齢
- 4) 入手先（ブリーダーより購入／ペットショップより購入／一般家庭で繁殖した個体を譲り受け／保護シェルター、愛護センターより譲渡／不明）
- 5) 混合ワクチン接種（あり：ワクチン種類および最終接種日／なし）
- 6) その他の既往歴

②飼育状況について

- 1) 飼育場所（室内飼育／室外飼育）
- 2) 散歩の有無（あり／なし）
- 3) 散歩ありの場合、散歩コースに河川や水源の有無（あり／なし）
- 4) 過去1年以内に犬を連れて名古屋市外に行ったことがあるか（あり／なし）
- 5) 生活圏のネズミの有無（あり／なし）
- 6) その他野生動物との接触の有無（あり／なし）

Ⅲ. 結 果

①疫学調査

1. 飼育動物

1) 品種

トイ・プードル16例、雑種12例、ミニチュア・ダックスフンド10例、チワワ8例、柴犬7例、ポメラニアン4例、シーズー2例、フレンチ・ブルドッグ2例、ペキニーズ2例、ボーダー・コリー2例、マルチーズ2例、ミニチュア・シュナウザー2例、ヨークシャー・テリア2例、

アメリカン・プリー1例、エアデール・テリア1例、カニヘン・ダックスフンド1例、ゴールデン・レトリバー1例、シェットランド・シープドッグ1例、ジャック・ラッセル・テリア1例、ビション・フリーゼ1例、ラブラドル・レトリバー1例、不明1例であった。

2) 性別

雄37例（去勢雄26例）、雌43例（避妊雌30例）であった。

3) 年齢

0.5歳～16.1歳で、平均は7.7歳、中央値は8.3歳であった。

4) 入手先

ブリーダーより購入は16例、ペットショップより購入は49例、一般家庭で繁殖した個体を譲り受けは9例、保護シェルター、愛護センターより譲渡は2例、不明は4例であった。

5) 混合ワクチン接種

ワクチン接種歴ありは68例（5種ワクチン27例、6種ワクチン41例）、なしは12例であった。
ワクチン接種最終日は2024年が45例、2023年が12例、2022年が5例、2000年が1例、2019年が1例、2018年が2例、2011年が1例、不明が1例であった。

6) その他の既往歴

既往歴なしは50例、既往歴ありは28例、不明は2例であった。

2. 飼育状況

1) 飼育場所

全例、室内飼育であった

2) 散歩の有無

散歩ありが75例、なしは5例であった。

3) 散歩ありの場合、散歩コースに河川や水源の有無

河川や水源ありが7例、なしが68例であった。

4) 過去1年以内に犬を連れて名古屋市外に行ったことがあるか

ありが26例、なしが53例、不明が1例であった。

5) 生活圏のネズミの有無（あり / なし）

全例、生活圏にネズミはいないとの回答であった。

7) その他野生動物との接触の有無（あり / なし）

1例で鳥との接触あり、79例は野生動物との接触はなかった。

②血清学的検査

本試験に供した80検体全てにおいて、抗原として使用した *L. canicola*、*L. icterohaemorrhagiae*、*L. hebdomadis* に対する抗体は検出されなかった。

IV. 考 察

本研究では、名古屋市内の動物病院に来院した飼育犬を対象に、*L. canicola*、*L. icterohaemorrhagiae*、*L. hebdomadis* の抗体保有状況を調査した。その結果、調査対象となった80頭の犬すべてにおいて、これらの血清型に対する抗体は検出されなかった。これまで日本国内における飼育犬で実施された調査では、レプトスピラの抗体保有率は8.9～40.0%と報告されている [12-14]。本研究の結果をこれらの調査結果と比較すると、極めて低い抗体陽性率が示された。

抗体陽性率が低かった要因として、飼育環境および地域環境の影響が大きいと考えられる。今回の調査対象の犬はすべて室内飼育であり、外部環境との接触が制限されていたことが影響した可能性がある。過去の調査では、野犬の抗体陽性率が高い傾向を示しており [15]、例えば名古屋市（1974年）の調査では、飼育犬の陽性率5.7%に対し、野犬では17.6%と大きな差があった [16]。本研究では、全例が室内飼育であり、感染リスクの低い飼育環境にあったと推察される。また、今回の調査対象において、河川や水源のある散歩コースが少ないことも、感染リスクの低減に寄与した可能性がある。本研究の対象犬のうち75頭（93.8%）は定期的に散歩をしていたものの、そのうち河川や水源のある場所を散歩コースとしていた犬はわずか7頭（9.3%）にとどまっており、いずれも生活圏にネズミを目撃しない環境であった。2017年に大阪府内で発生した犬レプトスピラ症の集団発生事例では、11例の感染が確認され、そのうち9例が死亡した。この感染犬の多くが同じ河川敷を散歩コースとしていたことが判明している [17,18]。このことから、レプトスピラ菌を保有するげっ歯類や野生動物の生息域である河川や水源周辺を避けることが、予防対策として有効である可能性が示唆される。

研究の限界として、サンプル数が少なく、調査対象とした血清型が3種類に限定されていたことが挙げられる。そのため、本研究で検出されなかった血清型のレプトスピラが地域で流行している可能性は否定できない。過去の報告の多くは、3種以外にも *L. Autumnalis*、*L. Australis*、*L. Hardjo*、*L. Pomona* などを含むより包括的な検査が実施されており、それらの結果と比較すると、本研究の抗体陽性率は過小評価されている可能性がある。多くの血清型を対象とすることで、地域ごとの優勢血清型が明らかにされている。例えば、北海道、滋賀県、鹿児島県では *L. icterohaemorrhagiae*、兵庫県、岡山県、沖縄県では *L. canicola*、富山県では *L. autumnalis*、大阪府では *L. australis*、静岡県では *L. icterohaemorrhagiae* と *L. canicola* が多く検出されている [12-14 19,20]。今後、名古屋市においても、対象とする血清型を拡充した包括的な疫学調査が必要であろう。

レプトスピラ症は、犬からヒトへ直接感染する可能性がある。2024年、日本と米国においてレプトスピラに感染した犬からヒトへの感染を疑う報告があった [10,11]。しかし、国内の報告によると、犬との接触が原因と疑われたケースは全体の約1%（3/251例）に過ぎず、いずれも犬からの感染を証明できていない [8]。また、レプトスピラ感染犬に濃厚接触した集団においても、感染者が出なかったと報告されており [7,9]、犬は人の主要な感染源ではないと考えられる。したがって、犬との接触後の手洗い、排泄物に直接触れない、過度な接触を控えるなど、動物と適切な接し方をすれば、感染リスクが極めて低いと考えられる。

本研究により、名古屋市において *L. canicola*、*L. icterohaemorrhagiae*、*L. hebdomadis* の抗体陽性率は極めて低い可能性が高く、現時点では流行が見られないことが示唆された。

犬はレプトスピラの感染実態を把握するための指標となるため、今後、対象とする血清型を拡充した包括的な疫学調査の継続が望まれる。

参考文献

- [1] 齋藤 光正, Villanueva Sharon YAM, 増澤 俊幸, 柳原 保武, 吉田 眞一. レプトスピラ感染症 ワイル病病原体発見から百年. 日本細菌学雑誌. 69 (4) : 589-600 (2014)
- [2] Ca Ferreira L, de Fa Ferreira Filho L, V Cosate MR, Sakamoto T. Genetic structure and diversity of the rfb locus of pathogenic species of the genus *Leptospira*. Life Sci Alliance. 7 (6) : e202302478 (2024)
- [3] Sykes JE, Francey T, Schuller S, Stoddard RA, Cowgill LD, Moore GE. Updated ACVIM consensus statement on leptospirosis in dogs. J Vet Intern Med. 37 (6) : 1966-1982 (2023)
- [4] Boey K, Shiokawa K, Rajeev S. *Leptospira* infection in rats : A literature review of global prevalence and distribution. PLoS Negl Trop Dis. 13 (8) : e0007499 (2019)
- [5] Goldstein RE. Canine leptospirosis. Vet Clin North Am Small Anim Pract. 40 (6) : 1091-1101 (2010)
- [6] 農林水産省 Web. 監視伝染病の発生状況.
https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/kansi_densen/kansi_densen.html
- [7] Barmettler R, Schweighauser A, Bigler S, Grooters AM, Francey T. Assessment of exposure to *Leptospira* serovars in veterinary staff and dog owners in contact with infected dogs. J Am Vet Med Assoc. 238 (2) : 183-188 (2011)
- [8] 国立感染症研究所. 〈特集〉レプトスピラ症 2007 年1 月～2016 年4 月. IASR. 37 (6) , (2016)
- [9] Guagliardo SAJ, Iverson SA, Reynolds L, Yaglom H, Venkat H, Galloway R, Levy C, Reindel A, Sylvester T, Kretschmer M, LaFerla Jenni M, Woodward P, Beatty N, Artus A, Klein R, Sunenshine R, Schafer IJ. Despite high-risk exposures, no evidence of zoonotic transmission during a canine outbreak of leptospirosis. Zoonoses Public Health. 66 (2) : 223-231 (2019)
- [10] Nakashiro H, Umakoshi K, Tanaka K, Tachibana N. Leptospirosis transmitted from a pet dog. BMJ Case Rep. 17 (8) : e261369 (2024)
- [11] Waranius B, Tillman C, Van Houten C, Harrist A, Digianantonio R, Hasel H, Atherstone C, Curren E. Human Case of Leptospirosis During a Canine Disease Outbreak - Wyoming, 2023. MMWR Morb Mortal Wkly Rep. 73 (27) : 602-606 (2024)
- [12] 阿久沢 正夫, 大石 明広, 富宿 誠吾, 出口 栄三郎, 三角 一浩, 坂本 紘, 安田 宣紘, 岡本 嘉六, 杉村 崇明. わが国の6 地域における飼育犬のレプトスピラ抗体保有状況. 日本獣医師会雑誌. 52 (12) : 780-783(1999)
- [13] 河南 明孝, 土井 大輔. 滋賀県下の犬におけるレプトスピラ抗体保有状況. 日本獣医師会雑誌. 61 (8) : 645-647 (2008)
- [14] 和田 優子, 藤崎 由香, 前田 健, 佐藤 宏, 横山 真弓, 宇仁 茂彦, 水野 拓也, 奥田優. 大阪府および兵庫県 の2 地域における野生アライグマと犬のレプトスピラ抗体保有状況調査. 日本獣医師会雑誌. 63 (9) : 707-710 (2010)
- [15] 劉 榮標, 別所 元茂, 伊興田 清, 篠原信之. 四国地方における犬のレプトスピラ抗体調査. 日本獣医師会雑誌. 28 (7) : 369-372 (1975)
- [16] 劉 榮標, 青木 守, 鷺塚 貞長, 野々垣 正忠, 水野 逸郎, 安形 公男, 渡辺 泰夫. 札幌市の診察犬に対するレプトスピラ抗体の分布調査 : 名古屋市の診察犬と野犬. 獣医畜産新報. 607 : 71-74 (1974)
- [17] 佐伯 潤, 北原 千春. 大阪府内で発生した犬レプトスピラ症集団発生事例. 日本獣医師会雑誌. 72(3):167-171(2019)
- [18] Saeki J et al. Canine Leptospirosis Outbreak in Japan. Front Vet Sci. 8 : 763859 (2021)
- [19] 阿久沢 正夫, 高橋 隆之, 中村 康男, 竹之下 浩和, 原由香, 森園 充, 坂本 紘, 岡本 嘉六, 出口 栄三郎. 鹿児島県畜犬管理センターの引き取り犬におけるレプトスピラ抗体調査. 日本獣医師会雑誌. 42 (5) :313-317 (1989)
- [20] 武田 雅人, 小西 修宏, 塩野 将巳, 飯田 芳人, 永田 秀明, 桂 誠一, 勝井 一恵, 堀越 敬之, 齋藤 浩一. 大阪府域における浮浪犬のレプトスピラ抗体の保有に関する調査. 日本獣医師会雑誌, 57 (12) : 809-812 (2004)

令和6年度 傷病野生鳥獣保護活動集計

学術委員会

■傷病の状況・結果別保護件数

令和6年4月～令和7年3月

	傷病の状況						結果					
	衝突・転落	病気	骨折	咬傷・外傷	衰弱	その他	合計	放鳥	死亡	保護	不明	合計
令和6年 4月	3			1	2	1	7		3	1	3	7
5月	9		1	3	2	2	17	1		5	11	17
6月	2			1	2	2	7	3	1		3	7
7月	1		2	2	1	2	8	3			5	8
8月			1	1	2		4	1			3	4
9月					2		2				2	2
10月			1	1	2		4	1			3	4
11月	1		3		1		5		1	1	3	5
12月			2				2		1	1		2
令和7年 1月	1			1			2			2		2
2月	1					1	2	1	1			2
3月			1	1			2		2			2
合計	18	0	11	11	14	8	62	10	9	10	33	62

■種別別保護件数

令和6年4月～令和7年3月

	令和6年										令和7年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
アオサギ		1											1	
アオバト							1	2					3	
アカショウビン													0	
アカミミガメ		4											4	
ウ													0	
オオバン									1				1	
オオミズナキドリ									1				1	
カエル		1			1								2	
カメ			1				1						2	
カモ		1					1						2	
カラス	2	4	2	1		1	1			1			12	
キジバト				1	1								2	
クサガメ													0	
コノハズク													0	
シロハラ													0	
スズメ		3	2	3				1					9	
タヌキ													0	
ツバメ	1		1	1									3	
ドバト		2	1	1	1	1		1				1	8	
ドブネズミ													0	
トラツグミ								1					1	
ヒヨドリ											1	1	2	
フクロウ	1				1								2	
ムクドリ				1									1	
メジロ	1									1	1		3	
ヤブサメ													0	
ヤモリ	1	1											2	
不明鳥	1												1	
合計	7	17	7	8	4	2	4	5	2	2	2	2	62	

令和6年度 テレフンドクター集計結果報告書

動物愛護事業委員会

1. 開設日数 **48** 日

2. 動物種別相談件数

	犬	猫	飼鳥	野鳥	エキゾチック	その他	合計
件数	51	27	1	0	4	0	83

3. エキゾチックアニマルの相談件数

ウサギ	ハムスター	リス	カメ	モルモット	フェレット	プレーリードッグ	金魚
0	0	0	2	0	1	0	0
イグアナ	アライグマ	サル	リスザル	コウモリ	モモンガ	ワラビー	ハリネズミ
0	0	0	0	0	0	0	0
スカンク	イタチ	ウーパールーパー	カエル	フクロキツネ	魚	カブトムシ	チンチラ
0	0	0	0	0	0	0	0
タヌキ	トカゲ	ヘビ	ネズミ	その他	不明	合計	
0	0	0	0	0	1	4	

4. 相談者の住所別調査

	名古屋市内	県内(市内除く)	近隣地区	遠隔地区	不明	合計
犬	40	8	1	0	2	51
猫	14	9	0	4	0	27
飼鳥	1	0	0	0	0	1
野鳥	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	1	0	0	3	0	4
その他	0	0	0	0	0	0
合計	56	17	1	7	2	83

近隣地区…岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井

5. 名古屋市16区別の相談件数

	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田
犬	3	0	0	1	24	1	3	1	0
猫	0	1	1	0	1	0	1	0	1
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	1	1	25	1	4	1	1

	中川	港	南	守山	緑	天白	名東	不明	合計
犬	0	1	0	1	1	0	1	3	40
猫	4	2	1	2	0	0	0	0	14
飼鳥	0	0	0	0	0	1	0	0	1
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	5	3	1	3	1	1	1	3	56

6. 愛知県内(市内除く)、近隣地区

	愛知	岐阜	三重	静岡	長野	滋賀	合計
犬	8	0	0	0	0	1	9
猫	9	0	0	0	0	0	9
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
合計	17	0	0	0	0	1	18

7. 遠隔地からの相談件数

	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	山梨	新潟	富山	石川
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	1	0	1	2	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	1	3	0	0	0	0

	福井	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	1	0	0	0	0	0

	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	0
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	1	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	0	0	0	0	0

	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	アジア	アメリカ	その他の国	合計
犬	0	0	0	0	0	0	0	0	0
猫	0	0	0	0	0	0	0	0	4
飼鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野鳥	0	0	0	0	0	0	0	0	0
エキゾチック	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	7

8. 相談内容と内訳

	治療相談	一般知識	避妊・去勢	伝染病予防	行政関係	その他	合計
犬	35	3	1	0	0	4	43
猫	14	4	2	0	0	0	20
合計	49	7	3	0	0	4	63

9. 治療相談の内容と内訳

	内 科							合計
	消化	循環	呼吸	泌尿	生殖	眼	歯・口腔	
犬	5	5	1	2	1	0	0	
猫	6	1	5	4	1	1	0	
合計	11	6	6	6	2	1	0	
	内 科						合計	
	耳鼻	皮膚・爪	神経	内部寄生虫	外部寄生虫	その他		
犬	1	1	1	0	0	25	42	
猫	0	0	1	0	0	3	22	
合計	1	1	2	0	0	28	64	

	外 科				合計
	外傷	骨折	捻挫	その他	
犬	1	0	0	0	1
猫	0	0	0	0	0
合計	1	0	0	0	1

	人獣共通伝染病				合計
	皮膚真菌	狂犬病	微生物	その他	
犬	0	0	0	0	0
猫	0	0	1	0	1
合計	0	0	1	0	1

令和7年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展

動物愛護事業委員会

【長寿猫表彰式】

令和7年度長寿猫飼主表彰式は、10月5日に動物フェスティバル会場で行われました。
猫ちゃんの年齢上位5名の飼主様に、受賞した猫ちゃん達の飼主様の代表として、壇上にて表彰状を受け取っていただきました。



【長寿猫写真展】

令和7年度長寿猫写真展は、10月5日に動物フェスティバル会場で開催されました。



【表彰長寿猫 集計結果】 (性別・年齢内訳)

年齢	20才	21才	22才	23才	24才	合計
♂	21	0	2	1	0	24
♀	25	4	1	1	0	31
合計	46	4	3	2	0	55

[協賛会社]
株マルワ(賞状印刷)

令和7年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈

動物愛護事業委員会

令和7年9月15日(月・祝)

東山動植物園で「長寿動物を祝う会」が開かれました。それに合わせて今年は、下記のアミメキリンのトリノに、長寿のお祝いとして好物のカシの枝を寄贈しました。



アミメキリン

Giraffa camelopardalis reticulata

- ・愛称 トリノ
- ・性別 オス
- ・年齢 19歳
- ・生年月日 2005年12月30日
(東山動植物園生まれ)



アミメキリンについて

陸生哺乳類で最も背の高い動物であるキリンのうち、体全体に網目模様を持つものの一種で、体高は4.5～5.2mに達する。体重はオスで800～1900kg程度、メスで600～1200kg程度になる。尾には毛の房があり、30cmに及ぶ毛が生えている。雄雌ともに有毛の皮膚で覆われた角を持つ。目は大きく左右に位置し、唇は可動性に富み、約40cmにもなる長い舌を持っている。平均寿命は20～25年。背の高い木々が生い茂る開けた乾燥した草原のあるサバンナに生息している。群れの中で複雑な絆と関係を形成する社会的な動物で、協力的かつ競争的な行動を示す。通常は直立したまま休息や睡眠を行うが、安全が確保されていれば座って休むこともある。

エピソード

東山動植物園では現在3頭のアミメキリンが飼育されており、トリノはその中で唯一のオスです。現在飼育しているアミメキリンの中で体格が一番大きく、落ち着いた行動を見せてくれています。トリノは母親のオグラに似てアミメキリンの中でも体色が明るい個体です。

トリノはこれまでに、東山動植物園で飼育されていたメスのマオとの間に5頭の子供をもうけており、最近では2020年10月20日に、現在も東山動植物園で飼育中のカンナが生まれています。その他にも生まれた子供のうち2頭が、現在も国内の他の動物園で飼育されています。

一日の採食量

青草10kg、乾草10kg、草食獣用ペレット1kg、枝葉15kg(枝の重量含む)

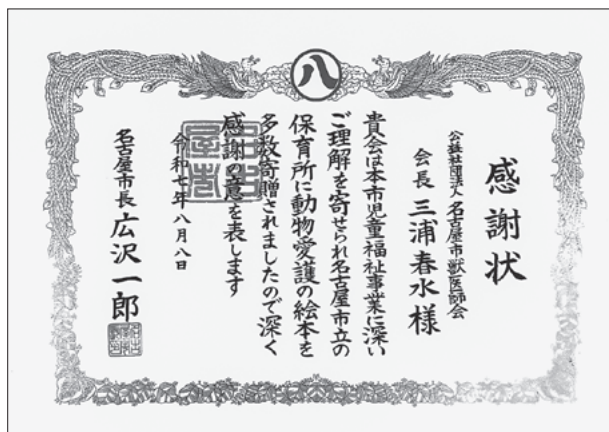
令和7年度 絵本寄贈

動物愛護事業委員会

令和7年8月8日(金)に寄贈

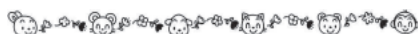
42年間継続寄贈しています

幼児期よりの「生命を尊重し豊かな心を育む」情操教育の一環として、名古屋市立幼保育園に今年度は12冊を一組にして10組、計120冊を寄贈しました。



寄贈図書

- いぬのずかん
- ねんねんよう
- かめかめたいそう
- おきるのだあれ?
- とびません
- つつごうさぎとゆきのもり
- 109ひきのどうぶつかくれんぼ
- パンダのおさじとふりかけパンダ
- シカしかいない
- ノラネコぐんだん ピザをやく
- わすれていいから
- ライオンのくにのネズミ



名古屋市獣医師会の皆さまへ

今年も多数の保育園に絵本をご寄贈いただき、誠にありがとうございます。
毎年のお心遣いに、心より感謝申し上げます。

獣医師会の皆様絵本をくださったことを話すと「動物の本がいっぱい」

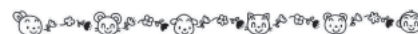
「わたしは動物のお医者さんになりたい」「夏なのにサンタさんがくれたのかと思った」と目を輝かせていました。

子どもたちは絵本の世界に入り込み想像を広げながら、感覚や感性を伸ばしていきます。豊かな感性を育む絵本を、これからの保育の中で大切に活用させていただきます。

公立保育園を代表いたしまして、お礼を申し上げます。

ありがとうございました。

名古屋市白金保育園 園長 水谷昌子



名古屋市獣医師会より絵本をいただきました

2025年8月20日 白金保育園

プレゼントが届いたことを知ると子どもたちは大喜びでした。壁から届いたのか子どもたちと書えてみると、「サンタさん、夏もくるんだー」という声も聞こえてきました。「動物のお医者さんからもらったんだよ」と聞くと、「ええ!」、「私、なりたい」と大きくなったならなりたい職業だった子どもいたので、びっくりしていました。



「なにかなー」と中身を覗く子どもたち。ひよこのテープが貼ってあり、「ひよこかも」と話していたり、貼ってみると「なんか硬い」とイメージを膨らませる子どもたちでした。絵本が出てくると、「いっぱい絵本だ」と嬉しそうなお子もたくさん。全部動物の絵本だと知ると、「だから動物なんだー」と納得の表情の子もいました。絵本に興味津々の子どもたちでした。



さっそく新しい絵本を貸したら読んでみました。「どうやって読むんだよ」としかけ絵本を楽しんでいました。様々な動物が出てきて、イメージの世界を楽しむ子どもたちでした。これから大切に読んでいきます。本当にありがとうございました。

動物フェスティバル2025なごや

動物愛護事業委員会

令和7年度の動物フェスティバルは、10月5日に久屋大通公園エンゼル広場にて開催されました。



動物好きさん
あつぱれ!

楽しいイベント
たくさん!

動物を飼っている人、飼っていない人に
動物と関わる素晴らしさを伝える動物看護イベント

動物フェスティバル 2025なごや

参加
無料
雨天決行

2025年10/5
10:00~16:00

久屋大通公園エンゼル広場

ステージイベント
獣医師・ドッグトレーナー・セラピスト
目からウロコ!
愛犬との暮らし、
ウソホンTalk

14:30~15:15 協力:Pooches
ワンちゃんとおごす時間「あたりまえと
思っていたけど実は間違っていた!」そんな
ワン・ホントを現役獣医師とドッグ
トレーナー・協力のもと、クイズ形式で楽し
く学びましょう!参加したくと素敵なプレ
ゼントがもらえるチャンスも!

楽しいコンテンツ色々!
かわいい動物とふれあえる
移動動物園

プロカメラマンと一緒にペットを撮影!
フォトコーナー

愛犬の健康をチェック!
犬体脂肪測定コーナー

ペットアイテムのバザー
ペットフード相談室

開催の有無につ
いては、当日の午前8
時から(名簿おし
え)でチラシにてご
案内いたします。

052-953-7584
(休日のみ) 受付時間
(休日の場合はお問い合わせ)

ドリンク・帽子など
審査対象グッズ
をゲットできる!



令和7年度 愛玩動物看護師法関連事業委員会事業報告

愛玩動物看護師法関連事業委員会

昨今、獣医療の発展とともに飼い主の獣医療への期待が高まるなか、病院スタッフの教育並びに人材確保は、健全な獣医療を支えるうえでますます重要となっています。今後、これらの課題解決に向け、この地域の愛玩動物看護師育成校との協力関係を築くことも重要となってきています。今年度は育成校との交流もあり、今後の協力体制の構築に期待を寄せているところです。

今年度8月31日に令和7年度獣医学術中部地区学会と同時開催した愛玩動物看護師口頭発表会並びに学術セミナーにおいて、学生および関係者を含め、約160名の参加があり、成功裡に終えることができました。口頭発表会では、一次病院、二次病院、大学病院、ならびに人とペットの共生サポートセンターに勤務する愛玩動物看護師による13題の口頭発表が行われ、今後の愛玩動物看護師の多様な活躍に大いに期待がもて、その可能性を実感いたしました。

愛玩動物看護師法における特例措置は、令和9年4月30日までとされています。最終年でもある令和9年の予備試験は、令和9年1月から4月末までに実施される予定です。

また、愛玩動物看護師法付帯決議には、

『十、本法律の施行後五年を目途として、本法律の施行の状況のほか、愛玩動物看護師等の資質、処遇及び人材確保の状況等について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果について所要の措置を講ずること。』

と明記されており、今後の法改正の動向についても注視していきたいと考えています。

本年度も事業を推進するにあたり、当委員会の先生方をはじめ多くの会員の先生方より、ご助言とご協力を頂きました。心より御礼申し上げます。また、企業の皆様からも多大なるご支援を賜り、重ねて感謝申し上げます。

【令和7年度活動】

○セミナー開催

①令和7年8月31日(日) 『あなたはちゃんと理解していますか？』

～愛玩動物看護師のための呼吸、循環、中枢神経のエマージェンシー～

講師：塗木貴臣先生 (TRVA動物医療センター院長)

②令和8年3月29日(日) 『その時のために今できること』

座学：①令和6年能登半島地震における愛玩動物看護師の活躍

②平時の災害対策における愛玩動物看護師としての役割

実習：図上防災訓練

講師：平井潤子先生

(NPO法人アナイス 理事長、公益社団法人東京都獣医師会顧問、日獣危機管理室統括補佐)

○令和8年1月現在 ippo公式LINE 登録者数 3774名

配信内容(月一度程度配信)

愛玩動物看護師法関連情報

動物介護(安部里梅先生)

カンボジアで動物看護師やってます(千村花子さん)

令和6年度 名古屋市人とペットの共生サポートセンター事業報告

名古屋市から委託*を受けて、下記のとおり「名古屋市人とペットの共生サポートセンター」を設置し、名古屋市動物愛護センター・保健センターで実施していた事業の一部や動物愛護に関する新たな支援事業を行っています。

※ 名古屋市が「人とペットの共生するまち・なごや」を目指して策定した「人とペットの共生推進プラン(計画期間：令和2年4月～令和12年3月)」に基づく事業の一部を受託。



1. 設置年月日 令和2年6月1日

2. 所在地 〒456-0002 名古屋市熱田区金山町一丁目5番2号 クマダ77ビル2F
電話：052-681-2211 FAX：052-681-2020

3. 職員体制 12名〈常勤8名〉令和7年3月末現在

- 施設長(主任相談支援員)…………… 1名〈常勤〉 獣医師
- 副施設長(副主任相談支援員)…………… 1名〈常勤〉 獣医師
- 相談支援員…………… 7名(獣医師・愛玩動物看護師・社会福祉士*等) 〈常勤3名〉
※ 犬猫の飼育に不安がある方(多頭飼育者等)からの相談を受け、必要に応じて福祉関係機関と連携した支援を行うために配置
- 事務員(経理・庶務等)…………… 3名(相談支援員兼務) 〈常勤〉

4. 主な業務内容

(1)動物の適正飼養・動物愛護に関する普及啓発教室

施設・地域等に出向いて、動物愛護教室、動物ふれあい活動やペット防災教室等を行う。

【令和6年度実績】 実施回数 102回、参加人数 4,305人



いのちの教室



動物ふれあい教室

(2)ペットの飼主への支援

ア 飼えなくなったペットの新たな飼主探し(当センターのウェブサイトにて情報を掲載)

【令和6年度実績】

- ウェブサイトへの飼主募集掲載頭数 454頭(犬68頭、猫341頭、その他45)
- 新たな飼主に譲渡された頭数 104頭(犬41頭、猫46頭、その他17)

イ 犬猫の多頭飼育等に関する相談対応

【令和6年度実績】 相談対応件数 1,200件

ウ 多頭飼育届出者を対象とした講習会(「名古屋市動物の愛護及び管理に関する条例」第5条の2第4項に基づく講習会)の開催

【令和6年度実績】 開催回数 2回、参加人数 8人

(3)地域猫活動の推進

地域猫活動を行う地域をみまもり地域として指定し、のら猫の避妊去勢手術を無料で実施できる手術券を交付し、会員病院で手術を行う。また、相談支援員を派遣し、活動グループづくりや地域の合意形成などに関するサポート、猫の保護器貸し出し、保護方法の助言等様々な支援を実施する。

【令和6年度実績】

- 専門職員の派遣件数 405件
- 手術実施頭数 728頭(避妊手術 388頭、去勢手術 340頭)



耳カットした猫
(なごやかキャット)

(4)譲渡推進事業

ア 犬猫の譲渡会

名古屋市動物愛護センターの譲渡ボランティアへの支援として名古屋市獣医師会館等で譲渡会を開催。

【令和6年度実績】

- 開催回数 16回(犬 2回、猫 14回)
- 参加人数 3,404名
- 参加動物数 1,446頭(犬 54頭、猫1,392頭)
- 譲渡申込頭数 415頭(犬 15頭、猫 400頭)



猫の譲渡会

イ 譲渡犬猫周知イベント(里親会)

保護犬、保護猫の飼育の普及を目指して、新たな飼主と共に幸せに暮らす犬猫の様子等を紹介するイベントを開催する。

【令和6年度実績】

- 実施回数 1回
- 参加人数 163人

(5)ボランティアの編成、育成及び支援事業

動物愛護推進や人とペットの共生事業に関わるボランティアの育成及び支援を目的として講習会を実施する。

【令和6年度実績】

- 実施回数 3回
- 参加人数 116人

(6)なごやペットパートナーシップ制度

ペットの飼育に不安を抱える市民やその関係者への支援として、ペットの困りごとや悩みを解決するためのサービスを提供できる名古屋市内の事業所を登録し、適切な相談先を紹介する。

【令和6年度実績】

- 登録事業所数 65事業所
- 登録事業者向け研修会の開催回数 1回、参加人数 11人

(7)のら猫の避妊去勢手術事業

保健センター・動物愛護センターが交付する手術券を持参する方に、自己負担額メス4,000円、オス2,000円で会員病院での手術を行う。

【令和6年度実績】

- 手術実施頭数 2,925頭(避妊手術 1,559頭 去勢手術 1,366頭)

(8)犬猫の多頭飼育崩壊発生時の避妊去勢手術事業

多頭飼育崩壊発生時等に、動物愛護センターに収容された犬猫の避妊去勢手術を会員病院で行う。

【令和6年度実績】

- 手術実施頭数 0頭(猫の避妊手術 0頭、去勢手術 0頭)

(9)犬猫の譲受人への支援事業

ア 動物愛護センターが犬猫の譲渡時に交付する診療券を持参する方に、会員病院で無料の避妊去勢手術を行う。

【令和6年度実績】

- 手術実施頭数 280頭(犬 避妊手術 0頭、去勢手術 1頭)
(猫 避妊手術 136頭、去勢手術 143頭)

イ 譲渡犬猫の診療券(ワクチン接種補助)

動物愛護センターが犬猫の譲渡時に交付する診療券を持参する方に、会員病院で名古屋市の補助額(3,000円)を差し引いた金額でワクチン接種を行う。

【令和6年度実績】

- ワクチン接種実施頭数 211頭(犬 2頭、猫 209頭)

令和7年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付

令和7年3月1日から令和8年2月28日までの会館屋外自動販売機による寄附金は右記のとおりです。

〔 合計金額 ￥ 30,427 〕

令和7年度 災害対策委員会 事業報告

災害対策委員会

災害対策における獣医師会の主な役割としては、以下の点などがあげられます。

- 動物の救護・医療活動
- 公衆衛生の維持および感染症対策
- 被災者支援と同行避難の推進
- 災害対応体制の構築と関係機関との連携
- 平時からの備えおよび啓発活動

当会はこれまで、名古屋市と平成22年度に「災害時の負傷動物の保護等」、令和4年度には「避難所における被災動物の健康相談および飼育相談」に関する協定を締結してきました。今年度は新たに、名古屋市からの応援要請に基づき、被災動物を飼い主から一時的に預かる協定を締結し、令和7年7月30日に調印式が執り行われました。この責務は極めて重く、当会としてもより一層の災害対策に尽力する必要があると考えています。

発災時に迅速かつ適切な対応を行うため、現在、当委員会にて災害時におけるガイドラインの策定を進めています。発災時には想定外の事態が発生する可能性もありますが、会員の皆様の指針となるよう策定を行っています。

また、今年度より避難所運営への負担を軽減するとともに、飼い主の皆様およびペットを飼われていない被災者の方々がより安心・安全に避難できる環境を整えることを目的として、スターターキット普及の取り組みを開始しました。名古屋市動物愛護センターに1セット、名古屋市人とペットの共生サポートセンターおよび当会会館に各1セットを配備することとなりました。

スターターキットは、避難所に来た飼い主同士が協力し、ペットの避難所内での飼育場所運営を、飼い主自身の責任において円滑に避難生活を開始するための支援キットです。

獣医師会の災害対策活動において、平時からの飼い主の皆様への啓発活動も極めて重要です。本年度作成したチェックリストについては、各病院において掲示・配布していただき、ペット防災に関する啓発活動にぜひご協力くださいますようお願いいたします。

また、今年度の動物フェスティバルでは、ステージ企画「ペット防災減災ミニミニ大作戦！」として啓発活動を実施しました。今後も各種イベント等を通じた啓発活動を継続できたらと考えています。さらに、当会ホームページにペット防災に関する専用ページを開設しました。当会の活動を通じて、より多くの方に防災への関心を高めていただけるよう、情報発信を進めていく予定です。

令和8年2月1日に東海地区獣医師会災害対策会議主催で開催されたVMAT講習会では、当会会員病院（会員獣医師、勤務医、愛玩動物看護師）より19名が参加しました。

確認テストを受験し、会員受講者すべてが合格し、VMATの認定を受けました。

専門的な知識を有する会員が増えることは、当会にとって大変心強く、本地域における災害対策の推進に大きく寄与するものと考えています。

しかしながら、これら獣医師会としての災害時の役割を果たすためには、まず会員の皆様ご自身の安全が最優先となります。本会としても、会員の皆さまの安否確認と支援を優先事項として考えていますが、会員の皆様には、ご自身とご家族、病院スタッフ、動物、そして飼い主の皆様を守るためにも、日頃より各自で災害対策に取り組んでいただきたいと思います。

災害時には、会員の皆様が同じ思いで困難に立ち向かうことになると考えています。平時の活動および災害時対応について、会員の皆様と協力し合いながら乗り越えられるよう、引き続き対策を講じてまいります。何卒ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和7年度 交流会

福祉厚生委員会

令和7年10月5日、動物フェスティバル後の打ち上げを兼ねた交流会が例年同様に開催されました。

たくさんの先生方が集まり、飲んで食べて楽しいひとときを過ごしました。また、昨年同様、担当理事の大崎先生と平安どうぶつ病院の三浦先生が、サックスとピアノ演奏で座を盛り上げて下さいました。

今回はビンゴ大会にラストワン賞を設けて、最後まで賑やかに盛り上がりました。



桂枝雀の思い出

大崎 龍也

会員寄稿として何かを書こうと思ってネタを探していたところ、昔良く聴いた懐かしい音源を見つけました。そこで今回は、その音源の中で躍動して僕らを爆笑の渦に巻き込んだ、稀代の噺家について駄文を書くことにしました。

数年前に新型コロナウイルスが猛威を振るって以来、物価は上昇しても賃金は上がらず、世界情勢も混沌として景気はちっとも良くなりならず、先の見えない不安が常につきまとい心も落ち着かない今日この頃ではありますが、こんな時こそ何か楽しいことを考えて笑っていたいものがあります。ところで、人はいったいどういう時に「笑う」のでしょうか？

「笑いは緊張の緩和である」などと良く言われております。言葉自体が独り歩きしているのご存じない方も多いかとは思いますが、この「緊張の緩和理論」を提唱したのは、落語家の2代目・桂枝雀師匠です。そんなわけで、今回は敬愛する桂枝雀師匠についての話を書こうと思います。



桂枝雀(2代目)1939-1999

僕が桂枝雀の落語を熱心に聴いていたのは、実は亡くなった後からだったのです。たぶん2000年頃だったでしょうか。当時僕は奈良県内の動物病院で代診をしておりました。

あるときそこで、詳しいいきさつは忘れましたが同僚から1枚のCD-Rを貰ったのです。そのCD-Rには彼がネットのどこかで拾い集めたmp3データがいっぱい入っていて、それは音声データに変換したら音楽CD15枚分、再生時間にして12時間以上にもなる桂枝雀の落語だったのです。それが、僕が桂枝雀に夢中になるきっかけでした。

ところで、当時は奈良県に在住しながら(それも奈良市内ではなく、吉野山という山の中に住んでおりました)、岐阜県で学生時代の仲間達とバンド活動などをしておりました。若かったからこそできた無茶な活動ではありますが、このバンドで多くのライブやイベントにも出場して楽しい思い出となっております。でもそれはまた別の話。

そんなバンド活動ですが、だいたい月に1回から2回のペースで練習があります。僕は練習のたびに奈良から岐阜まで車で移動しているわけですが、片道2時間以上になりました。今の衰えた身体では考えられないのですが、若い頃は力が有り余っていたのでしょう。平気で長距離ドライブをこなしていたのですが、その車内ではもっぱら桂枝雀の落語を聴いて運転していたのです。いや、バンドをやっているなら運転中の車内では演奏する曲やその他の音楽を聴いたりすれば良いのにとと思われるかも知れませんが、音楽ばかりだと運転中に眠くなっちゃうのですよね。とにかく、月に1度か2度、1日で4時間落語を聴くという生活が何年か続いていたのです。

ところで、落語というのは元々聴いて面白いための話芸であったはずですが、誤解を恐れずに言えば、伝統的な存在になるにしたがって「面白い・面白くない」ではなく「上手い・下手」とか「格調高い・低い」で評価されがちになってきていると思います。「名人芸」と持てはやされる偉い人の落語も、上手いと言われてはいるけども言うほど面白いのか？みたいにかんじるのが多々あります。それこそ、歌舞伎や能・狂言の次元に落語も片足を突っ込みかかっているじゃないかと、そんな印象を持っていました。

しかし、桂枝雀の落語は普通に、めちゃくちゃに面白かったのです。何がどう面白いのか解説を聴かなくても面白い、説明不要の面白さ。ああ、落語ってこんなに面白かったのだなと気づかされることになりました。

僕はそれから落語に興味を持つようになり、音声だけでは飽き足らず桂枝雀のDVDを買い集めるようになりました。映像付きで見たら、音声だけよりも面白さは何倍も増すことに気づきました。当たり前ですが、やはり表情や所作があってこと落語なのでしょう。なんなら、桂枝雀は高座を飛び回り、変な顔を作り、転げ回る、かなりダイナミックに動く落語家ですから、音声だけではその魅力の半分も味わっていなかったのだらうということですね。それから、他の落語家を聴いたり寄席に行ったりもしましたが、やはり1番は桂枝雀でした。

その後いろいろと調べているうちに見知ったことがありました。最初のうちは、桂枝雀は破天荒に高座で大暴れて自由自在に爆笑をさらうスタイルだと思っていたのですが、実はそうではなかったのです。自由に好き勝手に暴れ回るように見えて、冒頭で述べたように実はかなりの理論家だったのです。人がどうしたら笑うのかの理論を突き詰め、古典落語のサゲ(最後の一言)を分類して分析し、高座で飛び回るにしてもどういうタイミングでどういう角度で跳んで転ぶのが一番面白く見られるか、完璧に計算していたのだということです。

そう言えば、弟子の雀々だったか南光だったかは失念しましたがインタビューに枝雀の稽古について答えていたのを覚えています。枝雀に稽古をつけて貰っている時、「ハンコを押す動作をする時に、ハンコを紙から離す瞬間に数cmだけ膝を外側に開く。すると、リアルにハンコを押しているように見える」みたいなことを教わったのだそうです。そういうレベルで落語と向き合っていた人なのだ、と、いろいろ通り越して恐ろしさすら感じるようになりました。この人は人を笑わせるために自分の身を削りすぎているのではないだろうか、と。それが、後の悲しい結末に繋がっているのかも知れないと思いました。

僕は、一つのことを執念を燃やして突き詰めていき、確固たる信念を持って取り組むということの大切さと危うさを桂枝雀師匠に教わった気がしています。



2代目 桂枝雀は本名を前田達(とおる)と言います。1939年に兵庫県神戸市に生まれました。5人兄弟の4番目で上の3人は姉、下には弟という家族構成でした。

十代の頃、弟と組んだアマチュア漫才コンビ「前田兄弟」で素人参加のコンテストを荒らし回り、賞金で生活費を捻出していたそうです。その後、独立してアマチュア落語家として活動しているうちにコンテストの審査員をしていた桂米朝の目にとまり、そこから弟子入りすることになりました。(ちなみに弟の方はマジシャンとして活動しており、落語をしながら間にマジックを挟むというスタイルを考案して「マジカルたけし」の名前で活躍しておりましたが、残念ながら若くして亡くなってしまいました。)



マジカルたけし

桂米朝の内弟子時代には、何をするにしても常に落語のことを考えながら生活していて、深夜に歩きながらネタの稽古をして警察に通報されたり、掃除中に落語を稽古していて掃除機で什器を壊したり、私生活の間も全て落語の稽古をするというスタイルだったそうですが、その姿勢は生涯変わらなかったとのこと。

1967年に「桂小米(こよね)」の名で初舞台。小米時代は枝雀時代とは全く違う、繊細で丁寧なスタイルでありました。そして人気上昇してきた1973年に鬱病を発症。数ヶ月休養した後に復帰。

復帰後の1973年10月に「2代目 桂枝雀」を襲名。襲名後は落語のスタイルをがらりと変えて、現在でも良く知られている豪放磊落な芸風になりました。そこから多くの観客を大爆笑させるようになり、大衆的な人気を確固たるものとなりました。人気が頂点に達した1997年、二回目の鬱病を発症。1998年1月を最後に休養に入っていましたが、1999年3月13日に、上方落語爆笑王は自らの命を絶ちました。

師匠にして人間国宝の桂米朝は「枝雀は私よりも大きい存在になると、ずっと思っていたからね。自分よりも一皮むけて上に行くことを私は期待していた。」とコメントしています。

参考文献…「らくごde枝雀」桂枝雀・著 筑摩書房

令和7年度 名古屋市獣医師会行事

4月7日～ 5月16日	狂犬病予防集合注射事業	9月15日	東山動植物園のアミメキリンのトリノ(19歳♂)に、長寿のお祝いとして好物のカシの枝を寄贈
6月15日	名古屋市獣医師会 定時総会	10月5日	動物フェスティバル2025なごや
6月29日	獣医師向け学術セミナー 演題：超音波実習 『腹部の基本から副腎・膀胱・甲状腺まで』 講師：永田 矩之 先生 (岐阜大学応用生物科学部 獣医臨床放射線学研究室 准教授)	10月5日	長寿猫飼主表彰式、長寿猫写真展 ・長寿猫(55頭 20～24歳 ♂24頭、♀31頭)
8月8日	動物優良図書絵本(12冊を10組)名古屋市立幼保保育園に寄贈	10月5日	親睦会：会場『パークス名古屋栄店』
8月30日	中部地区獣医師大会(名古屋コンベンションホール) ・式典 ・特別講演(市民公開講座) 第1部 演題：『伴侶動物との共生が人と社会にもたらす効果』 講師：谷口 優 先生(国立環境研究所) 第2部 演題：『人と動物の共生について。アメリカに見る救う命と救われる命』 講師：西山 ゆう子 先生 (日米獣医師、ロサンゼルス在住)	1月28日	夜間動物救急搬送連携協定調印式 名鉄タクシーホールディングス株式会社と覚書締結
8月31日	獣医学術中部地区学会(名古屋コンベンションホール) ・学会区分 日本産業動物獣医学会(中部地区) 日本小動物獣医学会(中部地区) 日本獣医公衆衛生学会(中部地区) ・関連行事 1. 交流会 2. 愛玩動物看護師・動物病院スタッフセミナー 愛玩動物看護師口頭発表 学術セミナー 演題：『愛玩動物看護師誕生から3年～自分を伸ばし、未来を創る～』 講師：塗木 貴臣 先生 (TRVA動物医療センター院長) 3. 獣医療機器等展示	2月1日	(公社)日本獣医師会 東海地区 VMAT講習会 主催：東海地区獣医師会災害対策協議会(担当(公社)静岡県獣医師会) 講師：佐伯 潤 先生 (日本獣医師会理事(動物福祉・愛護部会長)、日本獣医師会危機管理室 危機管理統括、大阪府獣医師会会長) 講師：藤本 順介 先生 (東京都獣医師会(ふじもと動物病院)院長、日本獣医師会危機管理室災害対策部門 災害対策委員長)
		3月13日	名古屋市獣医師会学術Webセミナー (人獣共通感染症) 演題：『ネコとイヌのSFTSの最新情報』 講師：前田 健 先生 (国立感染症研究所 獣医科学部 部長)
		3月24日	名古屋市獣医師会政治連盟 総会
		3月29日	愛玩動物看護師・動物病院スタッフセミナー 演題：『その時のために今できること』 講師：平井 潤子 先生 (NPO法人アナイス理事長、(公社)東京都獣医師会顧問、(公社)日本獣医師会 危機管理室統括補佐)

退会者報告

令和7年7月22日 花之内十美子先生(西区)が本会を退会されました。

物故者追悼

令和7年5月13日 鷺塚貞長先生、令和7年6月27日 久世正士先生、令和7年9月20日 安藤重忠先生がご逝去されました。謹んで心からお悔やみ申し上げます。



ワンちゃんへ、ネコちゃんへ
そして、ペットオーナーへの
配慮がうれしい。

Heart TAB SERIES

ハート錠シリーズ

注意-獣医師等の処方箋・指示により使用してください

動物用医薬品 要指示 指定

ベナゼハート[®]錠 2.5 ベナゼハート[®]錠 5

犬慢性心不全及び
猫慢性腎不全用持続性ACE阻害剤
100錠 (10錠×10シート)



美味しく簡単投与

ワンプッシュで簡単に、均等に分割できます。
嗜好性の高いお魚味がそのまま生かされた、
風味豊かな美味しいブリッジパラタブル錠です。

レイヤリングコーティングパラタブル技術

本剤は犬及び猫において、先発品との同等性を確認しています。
また、“ベナゼプリル塩酸塩”を特殊な技術で
コーティングしています。

【成分及び分量】

品名	有効成分	含量
ベナゼハート錠2.5	ベナゼプリル塩酸塩	1錠(90mg)中2.5mg
ベナゼハート錠5		1錠(180mg)中5mg

【効能又は効果】

犬：僧帽弁閉鎖不全による慢性心不全の症状の改善
猫：慢性腎不全における尿蛋白の漏出抑制

【お問い合わせ先】 TEL：03-3264-7556（共立製薬株式会社 学術）

販売元
共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-5-10

製造販売業者
リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県川口市元郷 4-1-8

開発元
Veterinarian Medical Development CO.LTD
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1



動物病院の設計・開業コンサルティング

動物病院の新築・リフォーム

専門の設計事務所として、多くの動物病院に携わった知識と経験でお客様の希望をかえます。

TAC 設計室

①動物病院の設計・監理

デザインを重視して「はやる病院」「使いやすい病院」「近隣苦情のない病院」を提案。
建物プラン、設計、予算管理、入札、施工図のチェック・検査等工事監理。

②開業コンサルティング（開業資金、移転資金不足を解消）

立地調査・売上予測、開業計画書、事業計画書の作成。将来がイメージできる「堅実な経営」の指導。節税提案、雇用契約から保険までアドバイス。
HP 作成、広告宣伝、税理士、社会保険労務士の紹介。

③不動産（賃貸、売買）の仲介

当社グループ不動産会社が全国の不動産を仲介します。30年以上の豊富な経験で不動産の売買・賃貸の仲介を安全に行います。譲渡価格や、家賃の値引き交渉も行います。
売買・賃貸仲介は正規料金の3割引き。

④事業承継・動物病院の売買

自社グループ内で売買の評価が行えるためローコストで譲渡できます。
譲渡者、譲受者の相談、募集等、事業承継業務。譲渡シミュレーション作成・事業価値、不動産評価の算定、事業譲渡に伴う不動産売買。

⑤経営コンサルティング

自社グループを全て黒字にした経営者がコンサルティングを行います。
毎年10億前後の資金調達をお手伝いしている代表者が労働問題から節税、資産形成、相続の前後相談、リタイアの蓄地点、退職金、相続税のアドバイスをします。



事業承継



ご相談窓口



一級建築士事務所
株式会社 TAC設計室

TEL 052-932-1156
名古屋市中区梅井3-17-5

世界初、ネコ・エリスロポエチン製剤

エポベット®

EPOVET®

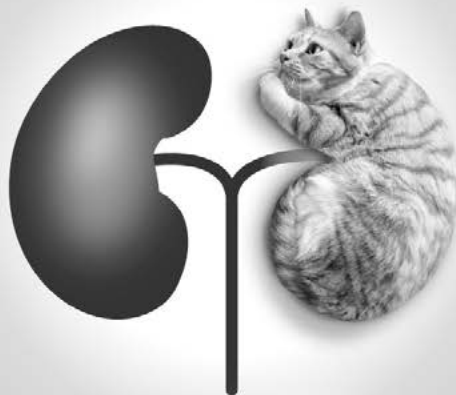
3つの特長

世界初*。
猫のために作られた
エリスロポエチン製剤

臨床試験において
確認された
有効性と安全性

猫へのストレスに
配慮した
投与頻度

*承認取得時の調査結果に基づく



製造販売元 ZENOQA 日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

エポベットは日本全薬工業株式会社の登録商標です。

選べる“ポチ”

pocH-100iVシリーズが「もっと使いやすく」を実現しました。

診療目的にあわせた2種類の“ポチ”は、タッチパネルによる簡単操作で豊富な臨床データに裏づけされた信頼性の高い検査を実現します。

簡単

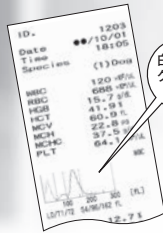
測定はサンプルを全血のままセットして、モニタ画面の上のスタートボタンにタッチするだけ。また、洗浄も自動的に実施します。

高性能

独自開発の試薬により白血球を分画します。また、血球数が多い動物血測定に効果を発揮するシースロー方式を採用しています。

安心

試薬にシアンを含まないヘモグロビン測定法の採用で、試薬の管理も安心です。



白血球をクリアに分画！

内蔵プリンターでの印字例

動物種の選択はタッチパネルに感れるだけ。

カシ、クマにも対応

*pocH-100V Diffのみ



商品紹介サイト

コンパクトなボディはほぼA3サイズのスペースに入ります。

測定項目	イタ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYMP, EOP, OTHR, LYMP%, EO%, OTHR%, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR
	ネコ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYMP, EOP, OTHR, LYMP%, EO%, OTHR%, RDW-SD, RDW-CV
	クマ	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR
研究用項目	other	WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, P-LCR, W-LCR, W-MCR, W-SCR, W-LCC, W-MCC, W-SCC

* pocH-100V Diffの測定項目となります。

● 電圧別測定方式は血液の検出条件として採用しています。特にネコ種においては赤血球と血小板の検出率が異なる場合があるため検出率アッププログラムが実行されることがあります。

製造販売元

シスメックス株式会社 本社 神戸市中央区臨浜海岸通1丁目5番1号 〒651-0073

(お問い合わせ先)

支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6337-8300
 営業所 広島 082-248-9070 福岡 092-411-4314
 札幌 011-700-1030 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701
 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707 金沢 076-221-9363 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331
 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788
 総製作務課 03-5434-8565



www.sysmex.co.jp

（動物用）多項目自動血球計数装置

pocH™-100i V Diff / pocH™-100i V

動物用医療機器承認番号：25 動物薬 322号

動物用医療機器承認番号：15 済安第 1678号

予防を科学し、人と動物を健やかに

鶏用ワクチン

日生研ニューカッスル生ワクチンS AC乾燥生ワクチン
 日生研C-78-18生ワクチン ガルエステクトCBL
 日生研M-18生ワクチン 日生研鶏コクサ弱毒3価生ワクチン(TAM)
 ガルエステクトS95-18 日生研鶏コクサ弱毒生ワクチン(Neca)
 日生研N8生ワクチン 日生研EDS不活化ワクチン
 ガルエステクトS95-NBL 日生研EDS不活化オイルワクチン
 日生研ILT生ワクチン 日生研ACM不活化ワクチン
 日生研HBD生ワクチン 日生研NBBC不活化ワクチン
 日生研乾燥鶏痘ワクチン ガルエステクトSEWO

豚用ワクチン

スワインテクトCSF 日生研豚丹毒不活化ワクチン
 スワインテクトAPX-ME 日生研豚丹毒生ワクチンC
 日生研豚APワクチン125RX 日生研豚ARBP混合不活化ワクチンME
 日生研豚APM不活化ワクチン 日生研ARBP・豚丹毒混合不活化ワクチン
 日生研MPS不活化ワクチン 日生研PED生ワクチン
 日生研グレーサー病2価ワクチン 日生研TGE-PED混合生ワクチン
 スワインテクトPRRS-ME 日生研日本脳炎生ワクチン
 スワインテクトSER-ME 日生研日本脳炎TTC不活化ワクチン

馬用ワクチン

エクエテクトERP 日生研日脳・馬グタ混合不活化ワクチン
 エクエテクトFLU 日生研馬口ウイルス病不活化ワクチン
 エクエテクトJIT 破傷風トキソイド(日生研)
 日生研日本脳炎TTC不活化ワクチン

牛用ワクチン

アカバネ病生ワクチン"日生研"
 日生研牛異常産3種混合不活化ワクチン

犬・猫用ワクチン

日生研狂犬病TTCワクチン
 (共立製薬株式会社販売です)

魚用ワクチン

オーシャンテクトVNN



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町9丁目2221番地の1

TEL 0428-33-1009(営業部) URL https://www.jp-nisseiken.co.jp



明日の医療と健康を
支えるチカラ

動物用医薬品・サプリメント、動物用医療機器、混合飼料、
医療消耗品等卸売販売



【動薬部】

名古屋支店：TEL：052.774.2638 〒465-0092 名古屋市名東区社台3丁目179

金沢支店、富山支店、豊橋オフィス、三重オフィス

名古屋ペット霊園

主宰 宝泉寺



- ◆ 葬式・火葬・供養を承ります。
- ◆ 病院までお引取に伺います。

〒468-0058 愛知県名古屋市天白区植田西 3-811
TEL : 052-806-0194 HP : <https://hosen-ji.jp>

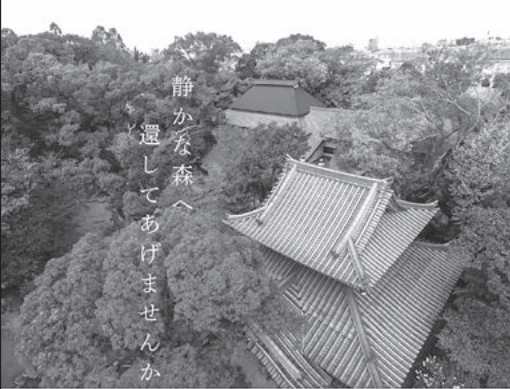
◆ 電話対応時間 24時間対応 ◆
◆ 開門受入時間 10:00~17:30 ◆

慈妙院 動物霊園

42年の伝統と信頼



〒487-0021 愛知県春日井市東神明町 479
TEL : 0568-51-1059 HP : <https://jimyouin.or.jp>




静かな森へ
還してあげませんか

名古屋獣医師共同組合指定 | 名古屋獣医師会推薦 | 愛知県獣医師会推薦

動物の命の尊厳を守る

中部地区最大の規模と1200年の歴史

 長楽寺動物霊園
☎ 052-811-6036

健全な社会は一人ひとりの健康から



中北薬品株式会社

地域とともに未来を紡いで
中北薬品は今年創業300周年を迎えます

松軒支店 (052) 856 0620
豊橋支店 (0532) 54 6453
岡崎支店 (0564) 21 7211

TOWARDS
THE **300**
Building the future

動物病院 設計設備



株式会社 メディカル技研

〒487-0034
愛知県春日井市白山町3-19-15
TEL (0568) 52-0138
<http://www.medical-giken.com>

私たちアスコが目指すのは、
日本で一番価値(魅力)あるアニマルヘルスケア企業です

株式会社 アスコ

愛知オフィス
愛知県名古屋市中区丸の内三丁目5番10号 名古屋丸の内ビル9階
TEL 050-3645-9218
FAX0532-33-3660 (全国統一)



編集後記

2025年は、日本でも世界でも大きな変革の時期を迎えたことを実感させる1年でありました。アメリカでもヨーロッパでも、近隣諸国でも国内でも次々と大きな動きがありました。

また、近年は情報の取得や発信の方法も多岐にわたるようになっております。現代人が1日に触れる情報量は江戸時代の1年分、平安時代の1生分の分量だとされておりましたが、それに加えて今後はAIの驚異的な発展により、膨大な情報が特定のベクトルを得て、日常生活ではさらにスピーディで大きな変化が見られることになるでしょう。そんなことを予感させる1年でありました。

この文章を執筆しているのは2026年2月であります。タイムリーなことを書いても「あゆみ」が発行される3月にはすでに時代遅れになっているのではないかと思えるほど、スピード感を持って変化の波が押し寄せております。

先の衆議院議員選挙は与党の歴史的な大勝ということで、ここから先、変化のスピードはさらに上がっていくことでしょう。

この情報と状況の奔流の中でも流されずに自分自身の生活を守り、できれば可能な限り周りにも良い影響を与えて行くためには、今まで以上に慎重な考察と適切な判断、そして何より自身が強くなることが求められるのでしょう。他力本願になるのは信条に反するのではありますが、それでも、より優しく穏やかな世の中になってくれることを祈って止みません。

会誌委員会 担当理事 大崎 龍也

あゆみ Vol.61

発行日 2026年3月24日

発行 公益社団法人 名古屋市獣医師会
名古屋市中区大須4丁目12番21号
TEL：052-263-0700
FAX：052-264-9381
<https://nagoyavet.jp/>

会誌委員会 委員長 大崎龍也
滝本 豊 小島健治
児玉順子 菅沼英人
鈴木克弥 圓谷 剛

印刷 株式会社ワコーヴィスコム
名古屋市北区木津根町61番地
TEL：052-915-0681
FAX：052-915-0671

地方獣医師会の
会員獣医師の皆さまへ

クレーム行為にお悩みの獣医師の皆さまには
強い味方がついてます!

獣医師賠償責任保険に自動付帯!

クレーム対応相談サービス をご活用ください!!

もし

クレーム行為※により
診療が阻害されたら...

※クレーム行為とは、記名被保険者が
日本国内で行った業務に対して、他人が被保険者(保険の補償を受けられる方)に暴行、脅迫、威力、セクシャルハラスメント、不遇去、偽計、風説の流布を行うことをいいます。

もし

SNS (GoogleクチコミやX)に獣医師や動物病院の名誉を毀損するような悪質な書き込みをされたら...

もし

リスクを十分に説明して行った手術で、ミスはなかったのに、「勝手な処置をされた」「すべき治療をしなかった」とクレームを受けたら...



こういう場合に、お気軽にご相談することができます!!

多くの会員獣医師の皆さまにご利用いただいています。

専門相談窓口への無料相談サービス [受付時間] 平日の午前10時~午後6時

クレームコンシェルとは、クレーム行為に関するご相談窓口です。

クレームコンシェルサポートメンバーがクレームに関するご相談に対し、応対方法など解決に向けた各種アドバイスを実施し、クレームの速やかな解決を支援します。

※ご利用は本保険の被保険者のみとなります。

クレーム対応
無料相談サービス
の使い方

加入者証に記載の相談ダイヤルへお電話ください!!
(受付時間: 平日午前10時~午後6時)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1
新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社

団体・公務開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。こちらからアクセスしてください。



SJ24-10918(2024/11/27)